

CSTミュージアム
第20回特別展

測るで わかる

日本大学 理工学部

2024.8.2(金) - 2025.7.1(火)



CSTミュージアム(日本大学理工学部科学技術史料センター)

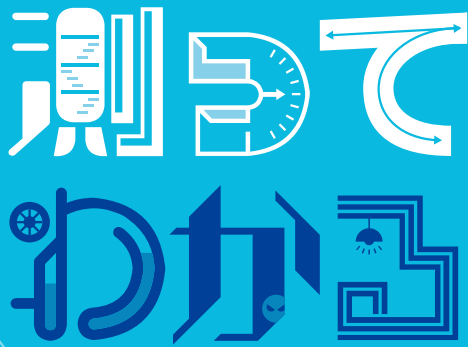
主催: CSTミュージアム

〒274-8501 千葉県船橋市習志野台7-24-1 日本大学理工学部 船橋キャンパス テクノブレス15 TEL.047-469-6372

開館 月曜日～土曜日10:00～17:00 休館 日曜日・祝日 【入場無料】 後援: 千葉県船橋市教育委員会/日本大学理工学部校友会



CSTミュージアム
第20回特別展



日本大学 理工学部

第20回の特別展は、「測ってわかる」を開催いたします。測る道具には、どのようなものがあると思いますか？紀元前の古代メソポタミアやエジプトでは、人間の身体の肘から中指までの長さの単位を1キュビットとしていました。今でも欧米諸国ではフィート(男性の足の長さ)など身体を基準とした単位が使われています。本展示では、古くから使われてきた道具と現代の「測る」技術をご紹介します。建物や道路、車、衣服、料理、機械、薬剤などのモノづくりには、長さや重さなど「はかる」ことが重要です。

現代の「測る」技術は、目に見えない超音波や近赤外光などを用いた距離センサなどを使うことにより、自動点灯照明やお掃除ロボット、安全を守る自動運転など、生活を安全に便利にするモノづくりに活かされています。

ぜひ、理工学の「測る」を体験して、新たな発見をしてください。

2024.8.2金 - 2025.7.1火

WORKSHOP

第1回

oc 8/3 SAT.

先着
15名

13時半～14時半

伊豆原先生 + MA (学芸員課程学生)

体験! 測ってみよう便利な道具

古代エジプトから昭和まで、人の身体を利用して測っていました。キュビット、寸、あた、ひろ、など測ってみませんか？また、学芸員が使う道具なども体験してください。



第2回

cw 11/3 SUN.

先着
15名

13時半～14時半

門馬先生 + 大学院生

体験! 理工学の「測る」を知ろう

自動点灯照明やお掃除ロボット、自動運転などに使われる「測る」を体験! 超音波距離センサや目に見えない近赤外光など、理工学部の「測る」を知ろう。



GALLERY TALK

oc 8/3 SAT.

どなたでも
気軽にお越し
ください

10時半～14時 (随時受け付け)

伊豆原先生 + MA (学芸員課程学生)

体験型ギャラリートーク

学芸員の教員と学芸員課程の有志学生が、常設展と特別展を解説します。展示資料を使って測ってみましょう。



お問い合わせ

CSTミュージアム

電話: (047) 469-6372

E-mail: cst.museum@nihon-u.ac.jp



CST MUSEUM
ホームページ利用案内



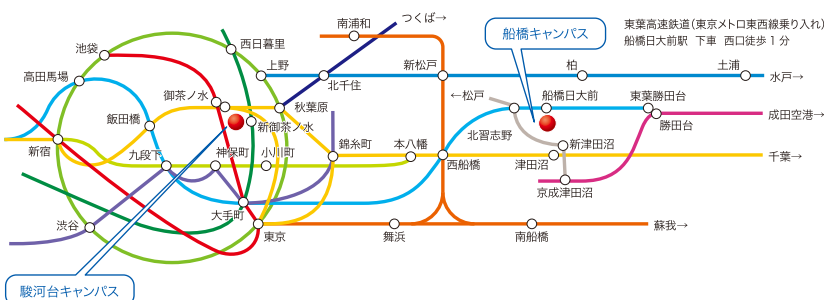
NU CST

日本大学理工学部

船橋キャンパス 〒274-8501 千葉県船橋市習志野台 7-24-1

アクセス 東葉高速鉄道(東京メトロ東西線乗り入れ) [船橋日大前] 駅 下車 西口徒歩1分

<https://www.cst.nihon-u.ac.jp/>



校内マップ

